

第2次 丹波市 環境基本計画



丹波の森と農を活かし、
人と自然が共生する
源流のまち

平成 29 年 3 月

 丹波市

【はじめに】

兵庫県丹波市は加古川、由良川の源流で、日本一低い谷中中央分水界を中心に南北にのびる低地帯「氷上回廊」を介して、日本海側と瀬戸内海側の気候風土が混在した自然豊かな環境に恵まれたまちです。

南北の気候が出会い、豊かな雨や雪、豊饒をもたらす耕土に恵まれ、生物の多様性、豊かな農産物や食文化を育てている丹波市の環境は、まちづくりに関わってきた全ての方々の長年にわたる努力により築かれたものです。兵庫県が「日本の縮図」と言われるなら、「丹波市は兵庫県の縮図」「丹波市は多様性のたまもの」とも言えます。

私たちはこの豊かな環境を身近に感じ、大切にしながら日々の生活をおくっている一方で、大局的には世界経済情勢の変化等により温室効果ガスの排出量削減が進まず、地球温暖化の進行に起因する気候変動が顕在し、生物多様性が年々失われるなど、環境を取り巻く課題が多様で複雑化しています。

私たち一人ひとりが環境の保全に関心をもち、身近なことから環境に配慮した行動を起こし、現在のライフスタイルを見直しながら丹波市の環境を守り育て、良好な環境を子どもたちをはじめとする将来世代へ引き継いでいかなければなりません。

そのため、市民、事業者、市がより深く連携し、本市のもつ豊かで美しい自然環境を共に守り育てられるように、一層取り組みを進め、この計画に掲げる「目指すべき将来像」を共通認識とし、丹波の森と農を活かし、人と自然が共生する源流のまちを目指していきますので、皆様の積極的なご支援とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

後になりましたが、この計画の策定に際しまして、ご審議、ご提案をいただきました丹波市環境審議会の皆様をはじめ、さらにはアンケート調査やパブリックコメントを通してご協力をいただきました多くの皆様、関係各位に心からお礼申し上げます。



平成 29 年（2017 年）3 月

丹波市長 谷口進一



【目次】

本編	1
序章 将来の丹波市の環境イメージ	2
第1章 計画の基本的事項	4
1-1 計画の背景	4
1-2 計画の根拠と役割	6
1-3 計画の位置づけ	7
1-4 計画の期間	8
1-5 計画の対象	8
1-6 計画の推進主体	9
第2章 環境の現状と課題	10
2-1 概況	10
2-2 環境を取り巻く状況	20
2-3 環境の現状と課題	24
第3章 目指すべき将来像とその実現に向けた方向性	46
3-1 目指すべき将来像	46
3-2 施策推進の基本的な視点	47
3-3 基本目標の設定	48
3-4 (参考) 基本目標設定までの流れ	50
3-5 環境施策の方向性と施策体系	52
第4章 具体的に実施すること	53
4-1 具体的に実施すること	53
<u>基本目標1 “里地里山”の保全・再生と循環利用</u>	
1. 目標実現に向けた取り組み	53
2. 計画の目指す姿の実現に向けた数値目標	56
<u>基本目標2 資源を大切にすライフスタイルの定着</u>	
1. 目標実現に向けた取り組み	58
2. 計画の目指す姿の実現に向けた数値目標	60

<u>基本目標 3 快適で安心して暮らせる環境の保全</u>	
1. 目標実現に向けた取り組み	62
2. 計画の目指す姿の実現に向けた数値目標	64
<u>基本目標 4 人の輪で育む環境づくり</u>	
1. 目標実現に向けた取り組み	65
2. 計画の目指す姿の実現に向けた数値目標	67
4-2 計画実現に向けた取り組み（環境配慮指針）	68
第 5 章 計画の推進と運用	75
5-1 推進体制	75
5-2 進行管理	77
資料編	79